

エコユニット活動報告書 (2021.7~2022.6)

＜エコユニット情報＞

ユニット名	エコてく。KCT		ユニット No.	10010030
構成人数	全体 (※1)	25	所属する エコビープル	
母体となる組織 (※2)	企業 (団体) 名	株式会社ナレッジクリエーションテクノロジー		
ホームページ	URL	http://www.jpckt.com/		

▲活動報告 (1)	
【活動名称・タイトル】	
東京・上野の国立西洋美術館を含む「ル・コルビュジエの建築作品」の世界文化遺産 視察	
【活動の時期・期間】	
2022年6月23日 (木)	
【活動内容と成果】 …参加人数等の数値的な実績も詳しくご記入願います	
<p>参加人数:3人</p> <p>世界遺産である、東京・上野の国立西洋美術館「ル・コルビュジエの建築作品」の世界文化遺産の視察会を実施しました。</p> <p>「ル・コルビュジエの建築作品—近代建築運動への顕著な貢献—」は、登録名からも分かるように近代建築三大巨匠の一人「ル・コルビュジエ」の建築作品群です。ル・コルビュジエは、スイスのラ・ショー＝ド＝フォン (2009年「ラ・ショー＝ド＝フォンとル・ロックル、時計製造業の都市計画」として世界遺産に登録) で生まれ、フランスで活躍した建築家で、現代の建築の基礎を築いたとされる人物です。現在では当たり前となった「ドミノ・システム」を考案したのも、ル・コルビュジエです。ドミノ・システムとは、鉄筋コンクリートの構造システムで、鉄筋コンクリートの床と床を支えるための最小限の柱、各階へ移動するための階段を要素とした建築方法です。それまで建物の床を支えていた壁を無くしたことにより、自由な平面をつくり上げることに成功しました。世界遺産として登録された物件は、全部で17件。数あるル・コルビュジエの作品の中でも傑作といわれる作品ばかりです。作品の素晴らしさは言うまでもありませんが、今回の登録では「近代建築運動への貢献」に主眼が置かれています。この作品群で近代建築の発展段階を辿ることが登録理由です。</p>	
【期待する活動の効果】	
<p>人類の歴史や、地球の雄大さを知るヒントとなるのが世界遺産です。2019年時点で1,000件以上の世界遺産があり、人種や性別、信仰や価値観を問わず、誰もが素晴らしいと感じる価値を持ったものが、世界遺産に登録されます。一方で、紛争や密猟、都市開発、自然災害により破壊の恐れがある世界遺産の数は増え続けており、SDGsではそれらの世界遺産の保全強化を目標に掲げています。世界遺産は、地球の生成と人類の歴史によって生み出され、過去から現在へと引き継がれてきたかけがえのない宝物であります。KCTも地球に住む一員として、現地にて実際の世界遺産にふれ、実体験にもとづき持続可能な社会の開発に主体的にかかわっていくことを再認識させられた。</p>	
【現状の課題とその解決に向けた今後の取り組み】	
<p>構造物等の世界遺産は、風化や老朽化等で主膳が必要な物が多々ある。また、地震や洪水など自然災害による影響も受けるなど後世に残すにあたり、色々な努力が必要となる。そのために、ドローンやICTなどを活用して、保全、修復にさまざまなテクノロジーを駆使することが求められる。また、AR,VRなどを使用した、バーチャルな観光や、ツアーガイドなど、維持に必要な収益(観光という観点)を得る手段としての付加価値となるICTが重要となっていく。今後は、保護してゆく手段(保全と産業化)の一つとして、ICT化がさらに進んでゆくと思われる。当社の社訓である豊かで調和のとれた社会の構築に向け、自社ソリューションが社会の課題解決の一助となるように支援を行ってゆく。</p>	
【実績】	

<p>今回の取り組みは初めての取り組みですか？ 継続した活動ですか？</p> <p>① <input type="checkbox"/> 初めて ② <input type="checkbox"/> 継続(年 月頃から)</p> <p>【ホームページ】※参照するページがあればURLをご記入ください。</p> <p>N/A</p>

<p>▲活動報告（2）</p> <p>【活動名称・タイトル】 オフィスのエコ活動</p> <p>【活動の時期・期間】 2014年1月～現在</p> <p>【活動内容と成果】 …参加人数等の数値的な実績も詳しくご記入願います クリーンオフィス、グリーンオフィスを社員一人ひとりが実践する。活動内容は、以下の通り。 ・本社及び各事業所メンバーによる、ペーパーレス化の実施。 ・紙コップを使用しない。(マイボトルの推奨) ・社内用書類の印刷簡素化(縮小印刷等) ・観葉植物設置(職場内緑化)。 ・離籍時のPCOFF対応(節電)。 ・ISO14001の取り組みに沿った、活動の可視化。</p> <p>【期待する活動の効果】 ・紙使用量の削減(森林伐採削減) ・消費電力の削減(発電量減少) ・目の保養(健康増進)</p> <p>【現状の課題とその解決に向けた今後の取り組み】 本社勤務、現場勤務と勤務地に違いがあるため、全てのエコてく。メンバーに浸透していない。 今後は、各現場にエコてく。サブリーダー(現場リーダー)を設け、本社勤務メンバー同様の運用とする。</p> <p>【実績】 今回の取り組みは初めての取り組みですか？ 継続した活動ですか？ ① <input type="checkbox"/> 初めて ② <input checked="" type="checkbox"/> 継続(2014年1月頃から)</p> <p>【ホームページ】※参照するページがあればURLをご記入ください。</p> <p>N/A</p>

<p>▲活動報告（3）</p> <p>【活動名称・タイトル】 「日向の森」植林、間伐ボランティア</p> <p>【活動の時期・期間】 2021年12月11日(土)</p> <p>【活動内容と成果】 …参加人数等の数値的な実績も詳しくご記入願います 公益財団法人 Save Earth Foundation(SEF)が主催する「森のボランティア活動」に参加し、千葉県山武市にある「日向の森」にて、植林された人口杉の「枝打」と日射量の少ない冬にむけて「間伐」を実施した。</p> <p>【期待する活動の効果】 「森林は生き物である」とよくいわれていますが、それが本当ならば、ときに人の助けが必要なこともあります。とくに、人</p>
--

<p>工林は人の手が加わらなければまともに成長しない。では、間伐をおこなっていない森林はどうなるのか？自然のままに放って置くと樹木の密度が高くなり続けます。そうすると、樹木同士が生育を邪魔しあって樹木がまっすぐ育たなかったり、日影が増えて土の栄養がなくなったり生育が遅くなったりしてしまふこともあります。曲がった樹木ややせ細った樹木は風雪に弱くなり、良質な木材にはなりません。</p> <p>しかし、適度に間伐がおこなわれた森林では、日光が適度に差し込むことで樹木の生育が良くなり樹木がまっすぐ育ちます。</p> <p>樹木の密度が高すぎないことで土に栄養が蓄えられ、樹木の幹も太くなり、風雪に強くなります。このようにまっすぐにかつ幹が太く育った樹木は加工しやすく、良質な木材として利益をもたらします。</p> <p>よって、人がより多くの利益を森林から得るだけでなく、森林そのものの成長を助けるためにも間伐の実施が必要不可欠だといえます。</p>
<p>【現状の課題とその解決に向けた今後の取り組み】</p> <p>当ボランティアは現時点(2021/12)では月 2 回ペースで開催され、季節や杉の成長具合に応じて作業内容が変わることなので、今後ともこのような活動に参加していきたいと思う。</p>
<p>【実績】</p> <p>今回の取り組みは初めての取組みですか？ 継続した活動ですか？</p> <p>① <input checked="" type="checkbox"/> 初めて ② 継続(年 月頃から)</p>
<p>【ホームページ】 ※参照するページがあればURLをご記入ください。</p> <p>NA</p>

<p>▲活動報告（4）</p>	
<p>【活動名称・タイトル】</p> <p>献血サポーター(日本赤十字社)</p>	
<p>【活動の時期・期間】</p> <p>2021年9月～現在</p>	
<p>【活動内容と成果】 …参加人数等の数値的な実績も詳しくご記入願います</p> <p>病気の治療や手術などで輸血を必要としている患者さんの尊いいのちを救うために、健康な人が自らの血液を無償で提供するボランティアをエコテック主体で、社内で啓蒙し、有志で実行する。</p>	
<p>【期待する活動の効果】</p> <p>・コロナ禍で、外出が少ない中、献血量が恒常的に少ない状況が全国的に起こっている。その中で、各事業所で、有志による献血ボランティアを実施する。献血については、業務時間内での活動を認めると主に、献血協力者に対しては、社内で表彰鵜とを行うようにして、参加者を増やし、身近な社会貢献について、社内で醸成を図る。</p>	
<p>【現状の課題とその解決に向けた今後の取り組み】</p> <p>昨年の参加者は、少なかったので、取組について周知を図る。</p>	
<p>【実績】</p> <p>今回の取り組みは初めての取組みですか？ 継続した活動ですか？</p> <p>② 初めて ② <input checked="" type="checkbox"/> 継続(2014年 1月頃から)</p>	
<p>【ホームページ】 ※参照するページがあればURLをご記入ください。</p> <p>https://www.ken-sapo.jp/supporters/show?prefecture_id=13</p>	

<p>▲活動 【指定テーマ】</p>	
<p>【活動名称・タイトル】</p> <p>エコピープルを増やすための活動（e c o 検定普及活動）</p>	
<p>【活動の時期・期間】</p>	

エコイープル活動(加入時期)から継続的に実施
<p>【活動内容と成果】 …参加人数等の数値的な実績も詳しくご記入願います</p> <p>当社エコ活動のチーム「エコてく。」の参加メンバーは、2022年6月時点で25名になります。メンバーは、eco検定を含む環境に関連する資格試験の取得による、環境学習を積極的に行えるよう、該当資格の取得に補助や人事考課のプラス評価などの仕組みを取り入れ、「エコてく。」メンバーが主体的に向学心を持てるよう取り組んでいる。(現在、4名がeco検定を合格)また、「エコてく。」未参加のメンバーも社員全員及びその家族については、課外活動に参加できるように支援、広報活動を行う。</p>
<p>【期待する活動の効果】</p> <p>環境に関する知識の醸成と、そこから当社の掲げるエコ活動への動機づけと日常生活におけるエコへの意識の向上とエコエバンジェリストとなることを期待している。</p>
<p>【現状の課題とその解決に向けた今後の取り組みについて】</p> <p>資格取得しやすい環境作りが、会社全体で行われる必要がある。特に、持続可能な社会を目指すために、SDGsの取り組みを社内に浸透させていく必要がある。会社主体で、SDGsの活動イベントを開催して、啓蒙活動や動機づけを行っていく必要がある。また、資格試験に合格するだけでなく、継続的な学習として、世界自然遺産の見学やエコツアーリズムなどに参加することで、発展的学習を図ってゆきたい。また、本年度は、社員にSDGsのピンバッジを配り、自社の取り組み含め、社外にもアピールをするように心がけた。</p>
<p>【実績】</p> <p>今回の取り組みは初めての取組みですか？ 継続した活動ですか？</p> <p>① 初めて ② <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (2010年4月頃から)</p>
<p>【ホームページ】 ※参照するページがあればURLをご記入ください。</p>
<p>【活動名称・タイトル】</p>

<p>★来年の計画や活動テーマ、抱負。</p> <p>本年度は昨年同様、コロナ禍のため、社外活動が大幅に制限された年であった。そのため、毎年実施している、集団での屋外でのボランティア活動が実施することができなかった。そのため、個人で活動できるように、日本赤十字社の献血サポートに登録し、有志による献血活動を実施、推進した。一方で4半期に一回行っている、社内でのエコに関する情報共有会は、オンラインにて実施し、社内での情報連携に努めた。なお、次年度は、上記活動を継続的に行うとともに、1.SDGs 事業者としての取り組みを拡大する、2.地域ボランティア(貢献する) 3.環境に関する教育(広める) 4.環境に関する知識の醸成(学ぶ) 5.グリーンオフィスを推進(実践する) 6.個人で実践する の6つの活動分野を深化させ、特に地域ボランティアでは、After コロナになったら、社員参加型の地域貢献活動などを通じて、社員の環境活動への動機づけや気付きなどを醸成してゆき、社員のリベラルアーツ教育に一助となるような活動とする。また、本年度は課外活動(他のボランティア参加者との共同作業)を積極的に行い、持続可能な開発目標の達成を図って行く。なお、当面は、With コロナの環境下、対面活動については、開催の有無、十分な安全の確保ができるかなど判断して持続可能な発展(経済との両立)が推進できるように実施するものとする。</p>
--